

## 平成30年度第10回地方独立行政法人京都市立病院機構理事会 議事録（要旨）

- 日 時： 平成31年3月26日（火） 午前10時30分から12時00分まで
- 場 所： 市立病院本館5階会議室
- 出席者： 理事長 森本 泰介  
理 事 黒田 啓史，半場 江利子，松本 重雄，位高 光司，山本 壯太，  
能見伸八郎，木村 晴恵  
監 事 長谷川 佐喜男，中島 俊則  
事務局 阿部経営企画局次長，長谷川担当部長，大島担当副部長，榎木担当副部長，  
石田総務担当課長，桑原管理PFI担当課長，  
北川京北病院事務長

### 1 開会

### 2 議事

#### (1) 平成31年度年度計画（案）及び予算（案）について

資料1に基づき，阿部経営企画局次長から説明  
議案のとおり承認された。

- 中期計画の数値目標に記載されている項目のほかに評価方法はあるのか。  
→ 年度計画で内部指標を充実しているほか，年度中に実績報告会を数回実施する等，職員への周知も進めている。
- 予算について，材料費の高騰が影響しているのか。  
→ 外来診療で抗がん剤等の高額薬剤の使用が影響している。今後周辺の医療環境についても，厳しくなると見込んでいる。そのため，収益を外来から入院へシフトするよう努めており，手技による収益を伸ばしていく。
- 救急医療の充実，医療安全部門によるRRS（院内救急対応システム）の活動等について期待したい。

#### (2) 経営状況月次（2月分）報告

資料2に基づき，阿部経営企画局次長から説明

- 他の独法病院による医師1人当たりの収益と比較すると，他病院は効率的に実施されているように見える。  
→ 他病院では心臓手術等の非常に高度な医療を提供しているなど病院ごとの違いはある。ただ，当院もまだまだ手技を伸ばす等の伸びしろはあると認識している。
- 京北病院の病床利用率が70%を達成している理由はあるのか。訪問看護の件数が減少した理由はあるのか。  
→ 病床利用率について，季節的な要因もあり，冬場は入院患者が多い。訪問看護については，死亡や他施設への入所等が考えられる。

#### (3) 月次収支（1月分まで）

資料3に基づき，阿部経営企画局次長から説明

- 2月以降の収支は。  
→ 2月の稼働日数は少なかったが，1日当たりの収益は高かった。

(4) 平成30年度外来患者満足度調査結果について

資料4に基づき、長谷川担当部長から説明

- ホームページの閲覧割合について検証する必要がある。満足度調査結果について、広報誌等に掲載する等周知方法を検討されたらよいと思う。
- 病院のイメージに関して、患者さんはよく病院のことを見られていると思う。待ち時間に関する不満も多い。
  - 新年度以降も外来適正化に向けて改善に取り組んでいく。

3 閉会